

フラッシュ書き込みソフトウェアツール Renesas Flash Programmer ご使用上のお願い

フラッシュ書き込みソフトウェアツール Renesas Flash Programmerの使用上の注意事項を連絡します。

- RXファミリマイコンからの読み出しに関する注意
- ワークスペースファイルを選択して起動する場合の注意

1. RXファミリマイコンからの読み出しに関する注意

1.1 該当バージョン

V2.00.00 および V2.00.01

1.2 内容

RXファミリマイコンのフラッシュメモリのデータを読み出す際、「読み出し」ダイアログボックスの「アドレス」タブで、「開始アドレスと終了アドレス」テキストボックスに値を入力して、読み出す範囲を1バイトに指定し、「読み出し」コマンドを実行すると以下のいずれかの問題が発生し、プログラムファイルが保存されません。

発生例1 :

Renesas Flash Programmerが異常終了します。その後再起動すると以下のエラーが発生し、すべてのコマンドが実行できなくなります。

エラー(E1017010) : E1/E20との通信に失敗しました。

エラー(E1010006) : 接続は失敗しました

なお、発生例1が生じた場合、E1、E20のUSBケーブルを抜き差ししてから、再起動してください。

発生例2 :

「エラー(E1010016)：読み出しに失敗しました」が発生します。

1.3 回避策

読み出す範囲を2バイト以上に指定してください。

1.4 恒久対策

V2.01.00（2013年3月末日リリース予定）で改修予定です。

2. ワークスペースファイルを選択して起動する場合の注意

2.1 該当バージョン

V2.00.00、V2.00.01

2.2 内容

以下に示す「操作1」または「操作2」の操作を一度も行っていないユーザーアカウントを使用した場合、ワークスペースファイルを選択してRenesas Flash Programmerを起動すると異常終了します。

ワークスペースファイルを選択してRenesas Flash Programmerを起動するには、以下3つの方法があります。

- ワークスペースファイルをダブルクリックする方法
- ワークスペースファイルをドラッグ&ドロップする方法
- コマンドプロンプト等でRFP.exeの後ろにワークスペースファイルを指定して実行する方法

操作1:

Renesas Flash Programmerをインストール後、「ようこそ！」ダイアログボックスで、「新しいワークスペースの作成」チェックボックスをチェックし「新しいワークスペースの作成」ダイアログボックスを表示させてワークスペースを作成する。

操作2:

Renesas Flash Programmerをインストール後、「ようこそ！」ダイアログボックスから作成済みのワークスペースファイルを開く。

2.3 回避策

Renesas Flash Programmerをスタートメニューから起動し、「ようこそ！」ダイアログボックスで「新しいワークスペースの作成」を選択し、「次へ」ボタンを押してから、「新しいワークスペースの作成」ダイアログボックスが表示されますので、キャンセルボタンでRenesas Flash Programmerを終了してください。

2.4 恒久対策

V2.03.00（2013年6月末日リリース予定）で改修予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.